

ふちゅう

町議会だより

第178号

令和7年8月
広島県府中町議会

夏を満喫！

～水分峡森林公園～

(関連記事14p)

6月定例会

J R向洋駅南口に駐輪場を新設 ほか	2～3
17人が町政を問う 一般質問	4～12
常任委員会レポート	13
全員協議会報告	14

YouTubeで公開中！



定例会の録画映像を
配信しています。

府中町議会【公式】

検索

※視聴環境により、通信料がかかる場合があります。

6月定例会補正予算

JR向洋駅南口に駐輪場を新設



●一般会計
向洋駅南口ロータリー付近に駐輪場を新設
1020万円

向洋駅南口ロータリー付近の公園予定地に、自転車・バイクなど約110台分の駐輪場を整備します。

【設置期間】
令和7年12月から令和10年度末までの臨時利用。

【運営方式】
駅北口の駐輪場と同様に、ゲート式での運営を予定。



補正予算 主な取り組み

※一万円未満を四捨五入しています。

6月定例会

令和7年第2回定例会を6月20日から24日までの5日間の会期で開催しました。

初日は町長報告を受けた後、一般会計補正予算などの町長提出議案16件と専決処分の承認1件を審議し、原案どおり可決しました。

23日からは一般質問を行い、24日は一般質問に続き、議員提出議案2件を原案どおり可決しました。

住宅用省エネ推進設備や宅配ボックスの補助金を増額
300万円

申請が盛況である住宅用省エネ推進設備や宅配ボックスの設置に対する補助金を増額します。

教師用学習系端末を更新
2360万円

令和7年10月にウインドウズ10のサポートが終了することから、小中学校の教師用学習系端末合計220台を更新します。

●下水道事業会計

雨水管の緊急点検を実施
1155万円

国からの要請を受け、管径2メートル以上で敷設後30年以上経過した雨水管、延長約3キロメートルの緊急点検を実施します。



主要道路下の雨水管は2月にも点検を実施済

消防本部の職員定数を増員

救急件数の増加などに対応するため、消防本部の職員定数を5人増員し、62人とします。



府中北小学校の屋根・外壁を全面改修

公共施設の維持保全事業として、府中北小学校の校舎と屋内運動場について、屋根と外壁の全面改修を行います。

【契約金額】

2億2019万円

【工期】

令和7年6月21日から令和8年3月31日まで

30メートル級はしご付消防自動車を更新

町民の安心安全につなげるため、はしご付消防自動車を更新します。この車両は緊急消防援助隊へ登録し、被災地での活動も予定されています。

【購入金額】

2億8050万円

【納入期限】

令和8年3月31日



導入車両と同種の車両



6月定例会 採決結果

審議した19件全てを全会一致で可決しました。

町長提出議案

- 令和7年度府中町一般会計補正予算（第1号）
- 令和7年度府中町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
- 令和7年度府中町下水道事業会計補正予算（第1号）
- 府中町職員定数条例の一部改正について
- 府中町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について
- 府中町税条例の一部改正について
- 府中町地域の公園設置及び管理条例の一部改正について
- 府中町水分峡森林公園設置及び管理条例の一部改正について
- 府中町自転車等駐車場条例の一部改正について
- 府中町都市公園条例の一部改正について
- 工事請負契約の締結について
府中北小学校校舎・屋内運動場改修工事

町長提出議案

- 工事請負契約の締結について
府中東小学校・府中緑ヶ丘中学校消防設備改修工事
- 財産の取得について
公用車購入一式（マツダ株式会社製 CX-80）
- 財産の取得について
30m級はしご付消防自動車購入一式
- 財産の取得について
収納OCR機器購入一式
- 人権擁護委員の候補者の推薦について

専決処分

- 府中町税条例等の一部改正について

議員提出議案

- 地方財政の充実・強化に関する意見書
- 刑事訴訟法の再審手続規定（再審法）の改正を求める意見書

町政のここが聞きたい

一般質問

町行政全般に対し、17人の議員が18件の一般質問を提出し、町執行部の所信をただしました。

※一般質問とは？：定例会の本会議で、議員が町長などに対し、事務の執行状況や将来に対する方針などについて質問し、報告や説明を求めることをいいます。

一般質問通告一覧

- | | |
|--|---|
| P4 坂田 栄一 議員
学校給食費の公会計化と食材調達について | P9 三宅 健治 議員
ケアマネジャー（介護支援専門員）の資格更新費用に対する助成について
梶川 三樹夫 議員
地域における野良猫問題への対策強化について |
| P5 山口 晃司 議員
公共施設包括管理業務委託について
橋井 肇 議員
インクルーシブ教育について | P10 田中 伸武 議員
終活サポート
齋藤 昇 議員
マイ・フローラ南交流センターの改修工事への対応について |
| P6 二見 伸吾 議員
防災井戸の整備について
宮本 彰 議員
児童生徒の体力向上のための施策について | P11 松本 真明 議員
府中町における林野火災に対する防火設備について
金澤 映理子 議員
誰もが「おでかけ」しやすい公共交通の環境整備について |
| P7 川上 翔一郎 議員
府中町におけるDXの進捗と成果について
森本 将文 議員
府中町の病児・病後児保育について | P12 狩野 雄二 議員
私道の町道編入及び管理について
安部 智恵美 議員
消防本部における訓練体制と設備について |
| P8 西山 優 議員
高齢者への外出支援の現状と対策は
木田 圭司 議員
町民の防犯対策について | |

答 広島県学校給食会等を通じて一括して調達

問 町内の小中学校では、令和5年度から学校給食費が公会計化され、食材費の支出を町が一括して管理するようになりました。食材の調達は随意契約ですが、その理由は。



安心安全な食材で給食を提供する

する牛乳や米、パンなどは、同会と広島県教育委員会が指定する事業者と随意契約を結んでいます。副食材料などは、学校で個別に調達していますが、食材ごとにこれまで納入実績があり、信頼できる事業者を町が選び、随意契約しています。各学校から必

答 現在、業者登録名簿の中から町内事業者を優先し、納入実績のある事業者との随意契約により食材を購入しています。今後さらに公平性、透明性を確保するため、より開かれた契約方式となるよう検討していきます。

問 地元業者の参入機会の確保は。

要な食材の数量、納期、事業者等の一覧表が提出され、町教育委員会が、この一覧表をもとに事業者と契約します。その際、法令により随意契約が認められているものであり、安心安全な給食を提供するために、十分な実績があることを確認しています。



さかた えいち 議員
坂田 栄一 議員

問 学校給食の食材調達は
答 実績ある事業者と随意契約



▲動画はこちらから



やまぐち こうじ 山口 晃司 議員

問 業務委託の再委託先は

答 できるかぎり町内業者で



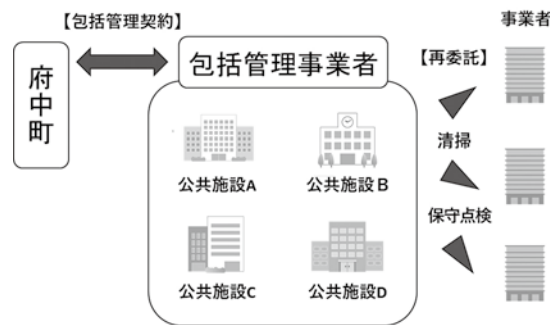
▲動画はこちらから

問 当町は公共施設の維持管理業務を民間に委託する「公共施設包括管理業務」を導入します。民間への再委託にあたって地元事業者を守る事が大切です。委託先を町内の業者に限定することはできませんか。

答 現在公募中の委託仕様に「できるだけ町内事業者を活用する」と定めており、必要な配慮をします。包括管理業務の実績がある事業者への聞き取り調査では、いずれも「町内事業者の協力は欠かせない、町の意向に応じる」という答えでした。

問 シルバー人材センターや障害者就労支援施設などに積極的に発注

公共施設 包括管理業務委託のイメージ



すべきだと思いますが町の考えは。

答 シルバー人材センターや障害者就労支援施設に対する発注は、法令に基づいており、これまで町から業務を請け負っていた場合は、引き続き再委託します。

問 指定管理施設における修繕の費用負担をめぐって町とトラブルになることがあります。新しい制度ではどうなるのでしょうか。

答 本制度では、200万円以下の場合には包括管理事業者が修繕し、それを超える場合は町が修繕します。



はしめ 橋井 肇 議員

問 入学前の就学相談は

答 情報提供し意向を伺う



▲動画はこちらから

問 小中学校入学前の就学相談において、特別支援学校や特別支援学級の選択はどのようになっていますか。

答 就学相談にあたっては、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズを踏まえ、本人や保護者に十分な情報提供をすることともに、ご意向を伺うことができるよう、丁寧な相談を心がけています。

また、青少年教育相談員を配置し、早い段階から就学についての相談ができる体制を整えており、本人および保護者と合意できるよう努めています。

問 学校と保護者との連携、相談体制は。

答 学級担任、特別支援教育コーディネーター、教育支援員を中心に、在籍児童生徒の状況を細やかに把握し、面談、電話、連絡帳、ICT連絡ツールなどを用いて、普段から保護者と連携しています。

また、保護者からの相談体制として、青少年教育相談員、特別支

援教育コーディネーター、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーを配置しているほか、学校や町教育委員会事務局でも相談を受け、相談者の心情に寄り添いながら不安の解消に向け、関係機関と連携して対応しています。



一人ひとりの教育ニーズに寄り添う



ふたみ しんご 議員

問 防災井戸の整備や助成は

答 必要性・可能性を探る



▲動画はこちらから



災害断水時の生活用水確保に役立つ「防災井戸」(イメージ)

が必要と考えています。

問 防災井戸の所有、管理者への助成は。

答 助成はありませんが、協定締結井戸に対しては、災害発生時に生じた負担は協議し決定することとしています。それ以外の井戸については定めがないため、今後対応を取り決めていく必要があります。

問 防災井戸のない地域で井戸整備の調査は。また公有地で設置数を増やす考えは。

答 防災井戸のみでの調査や整備の予定はありませんが、防災施設全般の検討に含めて必要性、可能性を考えていきます。

問 普段、水は上水道によって供給されていますが、大きな災害が起これば断水します。断水した場合に飲料水以外の生活用水を提供していただく「防災井戸」について、現在登録されている井戸の数は十分と考えていますか。

答 町と協定を締結している17力所、府中町公衆衛生協議会の調査により、災害時の協力を得ている30力所、あわせて47力所を「防災井戸」として確認しています。全町域が被災した場合、防災井戸だけではなく、より多くの手段で生活用水の確保



みやもと あきら 議員

問 体力向上に向けた対策は

答 指導改善計画を作成し対応



▲動画はこちらから

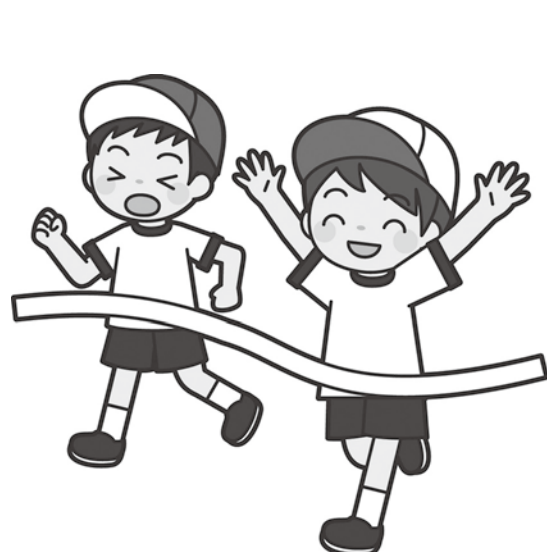
また、体力づくりの基礎となる食育の取り組みについても支援しています。

問 日常の遊びから筋力を付けていくため、学校遊具を充実させる考えはありませんか。

答 子どもは遊びを通じて多くのことを学び、

体力もつけていきます。その一方、衝突や転落などによる事故の危険があるため、計画的な遊具の修繕・更新に加え、休憩時間の見守り体制の整備についても協議し、必要な予算確保に努めます。

答 熱中症対策のため、運動会の時期・時間ともに早めています。限られた練習時間の中、安全かつ成果を発揮し達成感を感じる種目を選択して実施しています。



限られた時間の中でも、成果が発揮できるよう工夫



かわかみ しょういちろう
川上 翔一郎 議員

問

DXの進捗と成果は
しんちよく

答

計画どおり進んでいる



▲動画はこちらから

問 町のDX（デジタル・トランス・フォーメーション）については、推進計画に定める目標に向けて本格的な取り組みを進めていると理解していますが、主な目標、達成期限と進捗状況は。

省力化が図られました。また今年度は生成AI導入による業務効率化を進めるとともに、書かない窓口、電子申請のLINE連携など住民向けのサービス向上も進めていく予定です。

答 デジタル技術を活用した行政サービスの効率化・高度化を目指しています。令和8年度までの3力年で全職員参画型の体制を構築します。現在のところ、特に遅延している項目はありません。

問 どのような改善や効率化につながっていますか。

答 A-1議事録、業務プロセスの自動化などで



働き方改革と利便性向上につなげる

DXで導入する施策は、職員の働き方改革と、住民の利便性向上につながるものの2つに大別されますが、いずれも成果検証は重要で必要性が大きいと理解しています。具体的な調査方法を今後検討していきます。

問 成果検証のために調査を行う予定は。

答

DXで導入する施策は、職員の働き方改革と、住民の利便性向上につながるものの2つに大別されますが、いずれも成果検証は重要で必要性が大きいと理解しています。具体的な調査方法を今後検討していきます。



もりもと まさふみ
森本 将文 議員

問

病児・病後児保育の拡充は

答

先行市町の事例を調査研究



▲動画はこちらから

問 感染症の流行時期になると、病児保育室に預けたいのに預けられないという声があります。近隣自治体で定員枠を拡大する動きもありますが、町の考えを伺います。

町内の事業委託施設に病児保育室「ダンボ」があります。定員は6名ですが、感染症シーズンにおいては、定員を超えて受け入れるなど弾力的に運用しています。令和6年度に月の平均利用者数が定員枠一杯となったのは12月だけです。また令和5年度に定員を超えた月はありません。したがって、定員数は適切であり、定員を増やす考えはありません。

答



安心して預けられるよう、生活圏全体で支援

周辺市町との広域的な施設利用についても周知を図り、同一生活圏の地域全体で支援していきます。

問 ファミリーサポートセンターで病児や病後児を受け入れている自治体もあります。町で導入する予定はありますか。

病児・病後児の受け入れができれば子育て支援に有効と考えますが、子どもの健康安全の確保、預かった会員の確実なリスクなど課題もあることから、まずは先行市町の事例を調査研究していきます。

答 病児・病後児の受け入れができれば子育て支援に有効と考えますが、子どもの健康安全の確保、預かった会員の確実なリスクなど課題もあることから、まずは先行市町の事例を調査研究していきます。



高齢者の積極的な外出を支援

問 高齢者の積極的な外出は、生活の質向上や医療費の削減、地域活性化などの効果が期待されます。町の高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画のなかに、さまざまな支援策が位置づけられています。取り組みの現状について伺います。

答 高齢者の外出については、健康寿命の延伸、介護予防などの効用が社会的に認められつつあります。町では、外出のきっかけづくりとして「高齢者いきいき活動ポイント事業」に取り組んでいます。この事業では、65歳以上を対象に介護予防

教室やグループで行うウォーキングなどの活動に応じたポイントを付与し、奨励金を支給しています。令和6年度の参加率は30・9%で、目標とする30%を上回りました。また、未参加者への周知などにより、今後も参加率は伸びていくと期待しています。その他では、外出の移動支援として、つばきバス等の公共交通や一部地域でのデマンド型乗合タクシーがありますが、高齢化が進み、より支援が必要となることも考えられます。今後は、次年度からの新たな計画策定に向けて、今年度中に地域ニーズを把握し、支援につなげていく予定です。



にしやま まさる 議員
西山 優

問 高齢者の外出支援は

答 きっかけづくり等を支援



▲動画はこちらから



きだ けいじ 議員
木田 圭司

問 地域の防犯対策の強化は

答 新たな施策の検討を進める



▲動画はこちらから



犯罪抑止のため、個人宅の防犯対策も重要

問 町民の安全を守るため、地域の防犯対策の強化が求められています。町の取り組みの現状は。

答 町民の被害防止のため、「特殊詐欺対策電話機器」の購入補助制度を設けています。令和6年度の実績は20件

で、特殊詐欺や迷惑電話の防止に一定の効果を見せていると考えています。また、町では「消費者相談窓口」を設置し、消費生活に関する相談に応じています。令和6年度は271件の相談を受け、必要に応じて法テラスなどに紹介しました。

問 町民の自主的な防犯対策を促進するため、個人宅の防犯カメラやモニター付きインターホン等の設置を町が推奨し、補助制度を導入する考えは。

答 個人宅への防犯対策機器の導入は、犯罪抑止の観点から重要だと考えます。県内でも、一定の要件を満たす家庭用防犯カメラ、屋外用人感センサーライトなどに対する補助制度を作っている市町があります。当町でも他自治体の事例を参考にしながら、プライバシーに配慮した防犯対策など、新たな施策について検討を進め、町民の安全確保に役立つ具体的な方策を考えていきます。



みやけ けんじ 議員

問 ケアマネ資格更新の助成は

答 今後の状況を注視する



▲動画はこちらから

問 ケアマネジャーは利

用者に最適な介護サ
ビスをつなぐ重要な役
割を担っています。

町内のケアマネジャ
ー数と現在の状況をど
う把握していますか。

答 町内事業所に在籍す

るケアマネジャーは51
人です。また近隣市町
の介護事業所のケアマ
ネジャーも利用できる
ため、町内で介護サー
ビスの提供に支障が生
じる状況にはないと認
識しています。

問 ケアマネジャーの資

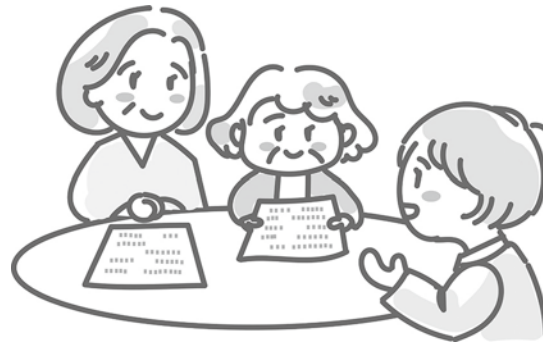
格更新には、5年ごと
の法定研修が義務づけ
られています。費用や
時間的に大きな負担が
ありますが、どのよう
に考えていますか。

答 資格の取得・更新は

個人のキャリアアップ
につながるもので、原
則、個人の責任におい
て実施すべきと考えて
います。なお、事業所
の中には必要に応じて
補助しているケースも
見受けられました。

問 ケアマネジャーの定

着と質の高い支援体制



利用者を適切なサービスへとつなぐケアマネジャー

答 資格の取得・更新は

個人のキャリアアップ
につながるもので、原
則、個人の責任におい
て実施すべきと考えて
います。なお、事業所
の中には必要に応じて
補助しているケースも
見受けられました。

答 現時点では考えてい

ませんが、介護人材不
足による公的支援の必
要性について、今後も
利用者へのサービス提
供状況を注視していき
ます。



かじかわ みき 議員

問 野良猫問題の対策は

答 地道な普及啓発活動を促進



▲動画はこちらから

問 野良猫の糞尿や鳴き

声などのトラブルが深
刻になっています。不
妊去勢手術への補助と
地域猫活動への補助だ
けでは対応に限界があ
ると考えます。野良猫
の被害状況は。

答 野良猫による糞尿被

害等の相談件数は、令
和2年度7件、令和5
年度12件と増加傾向に
あります。原因の大半
が無責任なエサやりに
あることから、職員が
現地調査に行き指導し
ています。

問 不妊去勢手術と地域

猫活動補助の実施状況
と効果は。

答 不妊去勢手術への補

助は、令和2年度から
開始し、令和6年度末

まででオス35匹、メス
46匹の手術に対して補
助しました。猫は1回
の出産で4匹から8匹
生むとされており、メ
スの不妊手術で、最大
1472匹の増加を抑
制したことになります。
また地域猫活動が行
われている地域では、
糞尿などによる被害の
相談が大幅に減少し、
活動の効果が現れてい

ます。野良猫問題への
対策は継続的かつ地道
な活動が鍵であり、不
妊去勢手術への補助は
今後も増加が予想され
るため、ガバメントク
ラウドファンディング
※の実施を予定してい
ます。

※寄附金の使い道を明確に
して、共感した人から、
ふるさと納税を利用して
寄附を募るしくみ。



適正な管理と地道な活動が鍵



たなか のぶひこ
田中 伸武 議員

問 終活サポートの実施は

答 町を取り巻く状況から判断



▲動画はこちらから



「終活」のサポート事業を行う自治体も

問 いざというときに備えて「終活」に取りかかる高齢者からは、行政の支援を求める声も出ています。町としてサポートを考える時ではないか。

答 「終活サポート」については、生前契約を受ける葬儀事業者の情報や自治体が提供し、緊急連絡先、遺言書の保管場所、開示対象者などを事前登録する事業に取り組んでいる例もあります。当町でも今後の高齢化の進展や埋火葬件数の推移など、高齢者を取り巻く状況から総合的に判断していきます。

その他の一般質問

府中町の重要文化財指定



さいとう のぼる
齋藤 昇 議員

問 南交流センター改修工事は

答 利用者の声を聞き進める



▲動画はこちらから

問 マイ・フローラ南交流センターには、思いやり駐車場2台を含め、15台分の駐車場があります。改修工事期間中の駐車場・駐輪場の台数確保は。

問 定期利用団体や盆踊り大会などの地域行事への影響は。

答 定期利用団体の来館方法は様々な工夫をされています。地域の夏

イ教室などの事業は、福寿館や北交流センターなど他の会場へ参加者を振り分けています。

問 近隣への周知と対応は。

答 工事前に近隣住民に戸別に連絡先等を記載したお知らせを配布しています。



改修工事が進む、マイ・フローラ南交流センター

問 近年、親族などに頼らず一人で暮らす高齢者、いわゆる「おひとりさま」が急増しています。町内の推移と、亡くなった場合の行政の対応は。

すると推察しています。また、病院などで亡くなる人の数は分かりますが、自宅等で亡くなり、身寄りがなく、町で埋火葬した事例は、令和6年度で5件です。令和5年度は1件でした。町では、「墓地、埋葬等に関する法律」に基づき、所持していた金銭などを葬祭費用に充てています。



まつもと まさもと 議員

問

山林の防火設備の状況は

答

防火水槽付近の整備を行う



▲動画はこちらから

やかに伐採します。

問 府中町は山林面積が約4割を占めており、山林火災への備えは、市街化区域への延焼を防ぎ、資産を守る上でも非常に意味のある事業だと考えます。山林の防火設備の状況は。

問 防火水槽までの経路について、途中までアスファルト舗装があり、防火水槽の周りは土のままの箇所があります。緊急車両の通行に支障はないのでしょうか。

該当の防火水槽は、花立山防火水槽とされます。以前、路盤面のぬかるみにより消防車両が動かなくなったことがあるため、早い段階でアスファルト舗装ができるようにします。

答 該当の防火水槽は、花立山防火水槽とされます。以前、路盤面のぬかるみにより消防車両が動かなくなったことがあるため、早い段階でアスファルト舗装ができるようにします。

答 呉娑々宇林道沿いに、防火水槽が7カ所設置されています。

問 木々が生い茂り、防火水槽の設置看板が隠れている場所があります。円滑な消火活動の妨げにならないよう、防火水槽付近の雑木を伐採することは可能ですか。

水利または水利標識は夜間等でも容易に確認できる状態にしておく必要があるため、速



未舗装部分が残る、花立山防火水槽



かなざわ えりこ 議員

問

公共交通環境の整備は

答

公共交通協議会で協議



▲動画はこちらから

問 交通の利便性は地域の要となるものです。町の地域公共交通計画に掲げる施策の現状は。

答 計画では、地域公共交通ネットワークを確保維持していくため、10個の施策を設定して取り組んでいます。人件費、燃料価格の上昇による運行経費の増大など課題もありますが、府中町公共交通協議会で議論し、誰もが「おでかけ」しやすい地域を構築していきたいと考えています。



誰もが「おでかけ」しやすい地域を目指して

答 つばきバスのルート延伸は所要時間が増え、サービスの低下を招くことから、個別地域の需要を満たす延伸は難しいと考えています。またルートの変更は路線バスやタクシー利用者に影響を及ぼし、地域公共交通全体のサービスの低下を招く恐れがあることから、

慎重に考える必要があります。

問 団地住民へのニーズ調査は。

答 地域単位で調査は実施していませんが府中町第5次総合計画策定に際し、公共交通機関の利用満足度等の調査をしています。

問 つばきバスやうぐいす号のルート変更、高台団地へのつばきバスルート延伸の検討は。



かの ゆうじ 議員
狩野 雄二

問

私道の整備補助制度の導入

答

制度について調査研究する



▲動画はこちらから

問 私道は土地の所有者が管理することになって

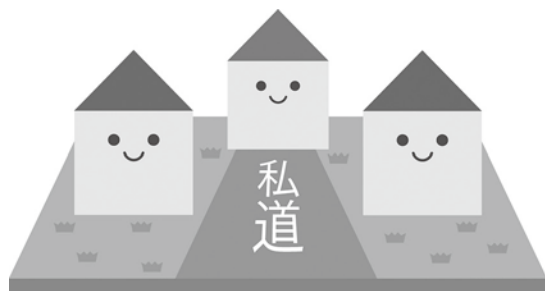
います。多くの人や車両が通行する私道であれば、わだちもできやすく、修繕など管理の負担も大きいと思います。幅員や出入口両面が公道に面しているなどの要件があり、望んでも町道への編入が

答 現在の基準は、基本的な部分は近隣市町と

共通しており、その動向をみながら調査研究します。

問 広島市・海田町・三

原市・庄原市などが私



土地所有者が管理を行っている「私道」

道整備費用の一部を補助する制度を設けています。補助制度について町の考えを伺います。

答 県内の複数の自治体

が、一定の要件を満たす私道について、舗装や排水施設などの整備費用の一部を助成しています。要件でおおむね共通しているのは、建設工事完了後、5年以上一般の交通に使用されていることが挙げられます。また補助金の額は工事費の50%としている自治体が多いようです。私道の整備は、土地所有者等全員の同意が必要であり、難しい現状があります。生活環境の向上と交通安全の確保の面から、制度について調査研究します。



あべ ちえみ 議員
安部 智恵美

問

消防女性職員への対応は

答

訓練や施設整備の面で配慮



▲動画はこちらから



“もしも”に備えて、共に訓練に励む

答 訓練は、基本的には性別に関わりなく実施

しています。ただし、一般的に筋力や体力に差があることから、重量物を持ち上げたり搬送したりする際は、複数の隊員でサポートする体制を構築しています。また、毒劇物に対する特殊災害への対応については、母性保護の観点から女性職員の活動を禁止しています。生活環境に係る施設では、2名の女性職員が在籍していることから、女性仮眠室に二段ベッドを設置し、トイレ付ユニットバスを整備しています。現状、特段の問題はありませんが、女性職員が増えた場合は手狭となります。

問 安全で円滑な消防業

務を行うためには日々の訓練が欠かせません。訓練体制、車両の安全運行はどのような研修プログラムですか。

答 年間計画を策定し、

基礎訓練や研修、機械器具点検は実施する曜日と時間帯を定めて行

っています。車両の安全運行について、町内道路で約一カ月間実習しています。

問 女性職員が採用され

ていますが、より一層活躍できる環境整備が求められています。訓練、設備に関してどのような配慮がされていますか。

常任委員会レポート

総務文教委員会

インクルーシブ教育・不登校支援などを 視察調査

◆第2回委員会

4月14日

●令和7年度主要工事
執行計画について
府中北小学校校舎・
屋内運動場改修工事、
府中東小学校・府中
緑ヶ丘中学校消防設
備改修工事について
説明。

問 消防設備の更新は
夏休みなどに行うの
か。

答 工事は主に夏休み
に行う。今後の工事
進捗により学校の休
業期間外に行う必要
が生じた際は、学校
等と協議して児童生
徒の安全に最大限配
慮する。

●年度当初の児童生徒
数について報告。

【児童生徒数】

4月7日現在

(小学校) 3118人
(中学生) 1294人

◆第3回委員会

6月9日



●府中町情報公開条例の
全部改正(案)につい
て説明。
●名誉町民制度の導入に
ついて調査。

◆行政視察

5月19日～21日

神奈川県厚木市

「インクルーシブ教育
について」

東京都調布市

「不登校支援につい
て」

東京都江東区

「防災体験学習施設
そなエリア東京」

厚生委員会

戸別収集の取り組み、地域コミュニティ助 成などを視察調査

◆第3回委員会

4月15日

●府中町こども計画、
府中町健康づくり計
画について報告。

●府中町下水道事業経
営戦略の改定につい
て報告。

●府中南交流センター
外壁改修工事など、
令和7年度主要工事
執行計画について説
明。

●工事請負変更契約3
件の締結を報告。

◆第4回委員会

6月10日

●工事請負契約3件の
締結について報告。

●ごみの戸別収集の導
入について調査。

●ごみボックス購入等
補助金の導入につい
て調査。

【問】

町内会の実情に応
じた負担軽減を検討
するには聞き取りな
どが必要と思うが、
調査はするのか。



答 ごみ処理基本計画の
策定に際し行うアンケ
ートの中で聞いていき
たい。

◆行政視察

5月14日～16日

東京都西東京市

「戸別収集の取り組み
について」

東京都新宿区

「地域コミュニティ助
成事業について」

東京都墨田区

「雨水の貯留・浸透及
び利用の取り組みに
ついて」

建設消防委員会

狭あい道路拡幅整備、連続立体交差事業な どを視察調査

◆第2回委員会

4月16日

●WACTORYパー
ク揚倉山(揚倉山健
康運動公園)再整
備・利活用に関する
基本構想の報告。

問 公園利用者などの
意見は聞いているの
か。今後聞く予定は
あるか。

答 今回は公園整備に
関わっていききたいと
考える民間事業者の
意見を聞いた。
今後、利用者の意
見も聞きながら民間
事業者と検討してい
きたい。

●令和7年度主要工事
執行計画について法
面崩壊対策工事、道
路新設改良工事、な
どについて説明。

●道路維持管理に係る
工事請負契約の締結
について報告。

●工事請負変更契約4
件の締結を報告。



●法面崩壊対策工事に係
る工事請負契約の締結
について報告。

◆行政視察

5月21日～23日

神奈川県鎌倉市

「高機能消防指令センタ
ーの運用等について」

千葉県鎌ヶ谷市

「連続立体交差事業に
ついて」

埼玉県川口市

「狭あい道路拡幅整備
事業について」

全員協議会報告

「新たな総合計画の策定状況を確認」

3月26日に全員協議会を開催し、令和8年度からのまちづくりの指針となる「第5次総合計画」について説明を受けました。今後も随時、説明を受ける予定です。

計画期間は10年

第5次総合計画は、令和8年度から令和17年度までの10年間の計画期間とする。また、これまでの取り組みや課題などを検証し、町民ニーズも踏

まえながら策定を進める。

アンケート調査を実施

令和6年11月から12月にかけて町民、事業者、中学生を対象に実施。ワークショップなども実施していく。

取組実績・課題等を整理

現在の第4次総合計画期間中の取組実績と課題について説明。

問 議会からの意見反映は。

答 意見の内容に応じた総合計画策定委員会、専門部会で検討する。

◆その他の議題

●府中町議会オンラインによる方法を活用した委員会の開会に関する規程の制定について

議会の動き

4月

- 8日 議会報特別委員会
- 14日 総務文教委員会
- 15日 厚生委員会
- 16日 建設消防委員会

5月

- 13日 議会運営委員会
- 14日～16日 厚生委員会行政視察
- 19日～21日 総務文教委員会行政視察
- 21日～23日 建設消防委員会行政視察

6月

- 9日 総務文教委員会
- 10日 厚生委員会
- 11日 建設消防委員会
- 18日 議会運営委員会
- 19日 議会報特別委員会
- 20日～24日 6月定例会
- 24日 議会報特別委員会

表紙の紹介



梅雨明け後の最初の週末、水分峡森林公園は多くの家族連れでにぎわっていました。「お母さん、みてみて！」水辺で遊ぶ男の子が顔を輝かせながら、捕まえた巻き貝を見せる姿に思わず笑みがこぼれました。夏本番、皆さんも自然あふれる水分峡森林公園を訪れてみませんか。

議会を傍聴してみませんか

次の定例会は9月初旬の予定です。



事前申し込みは不要です。
ぜひ、お気軽にお越しください。

編集後記

府中町は、広島市とともに原爆によって世界で最初に凄惨な被害を被った町として、昭和57年に府中町を「非核地域」とすることを宣言。その後も、核兵器の恐ろしさを後世に継承する取り組みを行ってきました。一方、世界に目を向けると、今もなお核をめぐる情勢は緊迫の度合いを強めています。

被爆80年という節目の年を迎えるにあたり、府中町では平和標語コンクール、追悼記念コンサート、慰霊式典など、さまざまな取り組みが行われます。

私自身、皆さんとともに、これらの取り組みを通じて、世界の恒久平和と核兵器廃絶の思いを発信していきたいと思っています。

(森本 将文)